

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5\_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-3\_スポーツの振興と競技力の向上

基本計画		事業番号	細事業名称
5-03-01	生涯スポーツの振興	10113_16	地域スポーツ育成事業
5-03-01	生涯スポーツの振興	10113_21	知的障がい者児スポーツプログラム実践助成事業補助金
5-03-01	生涯スポーツの振興	10525_01	新居浜市文化スポーツ大会開催支援奨励金
5-03-01	生涯スポーツの振興	10542_01	あかがねマラソン大会開催事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_17	各種全国大会出場奨励金
5-03-02	競技スポーツの振興	10442_01	学校スポーツトップアスリート事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10473_02	高校スポーツ強化指定校事業補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10567_01	ジュニアバドミントン交流事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10611_01	新居浜市合宿支援奨励金
5-03-03	施設環境の整備	10357_01	体育施設環境整備事業

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10113_16	
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	地域スポーツ育成事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	生涯スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	各校区体育振興会及び校区住民			数値	115920人	
	手段(どうやって)	各小学校校区に設置されている体育振興会もしくはそれに準ずる組織が、各校区で取り組むテーマを設定し、スポーツやレクリエーションを駆使して事業を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションを通じて市民が健康増進と地域の連帯感を深め、子どもたちの健全育成を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,487	1,890	1,890	1,702	○委託料 1,890千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,487	1,890	1,890	1,702		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
スポーツ教室等参加人数			目標値	6500	6500	6500	
			実績	3330	3381	3210	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
年間通しての活動になるため中間地点での数値は出せないが、今のところ中止報告もなく円滑に事業が進められていると思われる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
新たに金栄校区から地域スポーツ育成事業を来年度から行いたいと申し出があったり、地域コミュニティ課の予算で事業を行っていた中萩校区からも継続して事業を行いたいと申し出があったため、予算の要求方針としては拡大とする。一方で、翌年度から各校区で取り組むテーマ数を絞り、より効率的な形で事業を行う方針のため、校区各々の委託金額は縮小とする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
地域のスポーツイベント、教室として根付いてきており、校区体振が中心となり、地域住民の体を動かす機会を提供できている。校区ごとに行事の回数や内容などは異なるが、それぞれの活動体制に応じた内容ができていていると感じている。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10113_21		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費	細事業名	知的障がい者児スポーツプログラム実践助成事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	知的障がい者児(スペシャルオリンピックス新居浜所屬)		数値	約30人		
	手段(どうやって)	すでに活動しているバドミントンプログラム以外のプログラムメニューの策定					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新たな競技プログラムを開発し、知的障がい者児が行うスポーツの幅を広げるとともに、サポートしてくれる方々の輪を広げる。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		70	190	190	95	○負担金補助及び交付金 190千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	70	190	190	95		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
年間を通じたプログラム活動数			目標値	24	24	24	
			実績	12	26	23	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>年間を通して、バドミントン・水泳・陸上等の競技練習・大会への参加などを行っている。また、交流会を行う予定であり現在活動中のため、中間での報告数は把握できていない。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>精神的・肉体的なハンディキャップがある中で、知的障がい者児がスポーツを通じて社会と関わりを持つことや、障がい者児のスポーツ認知を高める重要な機会の創出につながっていることから、引き続き予算方針は現状維持とする。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>昨年度に続き、複数(バドミントン・水泳)のプログラムが実施された。ただし、水泳プログラムは山根屋内プールの工事により機会が減少することとなったが、本プログラムにより競技大会に参加するアスリートもおり、大会参加も含めた年間プログラム実施回数は23回の結果となった。引き続き事業を実施し知的障がい者児のスポーツ機会を提供していく。</p>							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10525_01			
事業名(行目名称)		新居浜市文化スポーツ大会開催支援事業費	細事業名	新居浜市文化スポーツ大会開催支援奨励金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上				
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	本市で開催される参加者100名以上、かつ県外参加者25名以上の大会		数値	10大会			
	手段(どうやって)	新居浜市で開催される参加者100名以上、かつ県外参加者25名以上の文化・スポーツ大会に対して、主催団体負担金額の50%、上限100,000円として大会開催奨励金を支出する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市において大きな文化・スポーツ大会が開催されることにより、本市の芸術文化及びスポーツの振興を図るとともに、地域経済活性化へ寄与する。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		800	500	500	480	○報償費 500千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		800	500	500	480			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
大会開催数			目標値	10	10	5	10	
			実績	3	8	6	6	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>本年度から、負担金額の50%の補助率を設けて、多くの団体が申請できるよう制度を見直した。中間時点で6件の支出となっている。参加人数2,989人、内県外参加者1,348人となっている。予算は48万円を執行済みであり、ほぼ上限に達している状況である。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>本市で大会が開催され、本市の認知度向上と滞在による市内経済への波及を目的として、引き続き事業を行う。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)	B:事業の進め方の改善検討					
<p>本制度を利用し、開催が定着した大会もある。令和6年度は予算を理由として断った大会は無かったが、予算規模は縮小されているため、大会主催者負担分の2分の1(上限10万円)に変更しているが、今後年度の初めに申請が集中した場合、年度後半に開催される大会は補助が受けられない可能性が高い。</p>								

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10542_01	
事業名(行目名称)		あかがねマラソン大会開催事業費		細事業名	あかがねマラソン大会開催事業		
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	生涯スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	マラソン大会参加者			数値	1400人	
	手段(どうやって)	市民マラソン大会をリニューアルさせた「あかがねマラソン」を、山根公園を主会場にハーフマラソンコースをメインに参加者1400人規模のマラソン大会を開催する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	一人でも多くの市民の参加を得て、市民がスポーツをするきっかけづくりを提供する。また、市外県外からの参加者を得て、スポーツツーリズムによる地域経済活性化へ寄与する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース  ○職員手当等 448千円 ○負担金補助及び交付金 4,716千円	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		5,164	5,164	5,164	5,164		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	5,164	5,164	5,164	5,164		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
大会エントリー者数			目標値	1800	1800	1400	1400
			実績	937	910		890
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
ランナーへのおもてなし、小学生4～6年生を対象にした2kmのコースを設定するなど、参加者増加に向けた企画を計画している。本市の大きなスポーツイベントとして認知されてきているが、コースの設定は緊急車両の通行幅確保等によりここ数年変更が続いており、コースの固定と参加者のさらなる増加に向けた検討が必要。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
本市の一大スポーツイベントとして、引き続き開催し、さらなる参加者と本市の認知度向上のため継続して開催する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
令和6年度のあかがねマラソンについては、道路使用許可の関係から別子山角野線の距離を短くしたコースへ変更した。また、コロナ禍以降開催できていなかった小学生のマラソン2kmの部を実施し、会場でのおもてなし(選手へのふるまい)も行った。大会そのものの参加者からの評価はおおむね好評であった。大会参加者はこのところ伸び悩みを見せており、参加者増加へ向けた対策を講じる必要がある。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10113_17		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	各種全国大会出場奨励金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全国大会・国際大会出場選手			数値	約500人		
	手段(どうやって)	学生以下で全国大会へ出場する選手等へ1人5,000円、国際大会へ出場する選手等へ1人30,000円の奨励金を支出する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	予選大会を勝ち抜いて、全国大会や国際大会へ出場する選手への奨励金を支出することで、今後の選手への励みとなり、本市の競技スポーツの向上と推進を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,670	2,500	2,500	1,770	○報償費 2,500千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	3,670	2,500	2,500	1,770			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
全国大会・国際大会出場者数			目標値	500	300	250	500	
			実績	616	366	122	346	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>令和5年度より学生以下を対象とし、年間2回までと変更した。令和6年度からは、1回あたりの額を1万円から5千円へ変更し予算規模を変えずに、多くの人が受け取れるよう変更した。 全国大会出場者121人、国際大会1人</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>個人競技・団体競技含め様々な種目からの申請があり、本事業のニーズは高い。また、学生らの全国大会出場状況について把握するツールにもなっているため、現状を維持して継続していく。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>令和5年度からは、対象者を大学生以下に限定し、全国大会へ出場する子どもたちの意欲向上と家庭への経済的負担軽減を図ることができた。</p>								

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10442_01		
事業名(行目名称)		運動部活動競技力向上事業費	細事業名	学校スポーツトップアスリート事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内中学生及び高校生対象部員	数値	約1700人			
	手段(どうやって)	トップアスリートを招聘し、トレーニングの実践及びトップクラスの専門的技術指導、また講義も含めた幅広い講習会を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	トップアスリートを招聘し、生徒たちの競技力の向上及び指導者の指導力向上に努め、体力低下に歯止めをかけるとともに、個々の種目においての競技力の向上を図る。また、将来的に全国大会で活躍できる選手育成や選手強化に結び付けていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)		令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,602	2,976	2,976	1,717		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	539	1,000	1,000	725		
	一般財源	1,063	1,976	1,976	992		
○報償費 1,420千円 ○旅費 1,197千円 ○需用費 126千円 ○委託料 233千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
県大会出場校の上位入賞率		目標値	40	40		40	
		実績	21.6	21.6		26.6	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
国内のトップアスリート又はトップコーチを招聘し、中学生及び指導者を対象として競技力の向上や指導力の向上を図り、全国レベルの選手育成や部活動の活性化に寄与しており、一定の成果も出ている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
これまで、主に高校部活動を中心に行ってきたが、中学校へシフトする。今後の中学校部活動の地域移行も踏まえつつ、本事業のについては検討していく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
野球、バドミントン、ハンドボール、陸上競技、バレーボールについて事業を実施した。愛媛県高等学校総合体育大会の上位成績者入賞率も上昇してきている。引き続き事業を行い、生徒の競技力向上を目指す。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10473_02		
事業名(行目名称)		学校スポーツ活性化事業費	細事業名	高校スポーツ強化指定校事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内高校指定運動部		数値	7部活動		
	手段(どうやって)	市内の各高校が強化を希望する部活動のうち、市が認めたものを強化指定校(部活動)として補助金を支出する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	全国大会出場常連校など、市内の中学生アスリートが進学したいと思うような、魅力ある高校部活動を目指して、競技力の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 3,000千円	
経費		4,256	3,000	3,000	2,958		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,256	3,000	3,000	2,958		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
全国大会出場部活動			目標値	7	7	7	7
			実績	6	5	5	6
V 事中評価							
評価視点		妥当性	有効性	効率性			
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
<p>市内の各高校の部活動強化のため、全国大会等の出場実績に応じて支出し、強化合宿や遠征等を実施する中で競技力の向上が図られている。学校からの計画が提出され、事業は滞りなく実施されている。全国的に進められているが、今後については、全国的に進められている中学校部活動の地域移行の状況に対応していく必要があると考えている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
<p>一定の成果はあったが、中学校部活動の地域移行にも、市として対応していく必要もあり、事業見直し年度である令和7年度をもって、高校スポーツ強化については終了とする。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	B: 事業の進め方の改善検討				
<p>計画年度最後であり、期間中は指定した7部活のうち6部活が全国大会に出場することができた。本事業についても予算は削減されているため、各部活への配分額を減額調整している。金額が先細りしているため、今後の事業の基準などを改める必要があるかどうか検討する必要がある。</p>							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10567_01	
事業名(行目名称)		ジュニアバドミントン交流事業費		細事業名	ジュニアバドミントン交流事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	ジュニアバドミントン交流大会			数値	1大会	
	手段(どうやって)	大府市と新居浜市において隔年で主催を持ち回り、ジュニアバドミントン交流試合を行うことで、両市の交流を推進する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市と大府市のジュニアバドミントン交流試合を継続的に開催することで、選手及び指導者の交流を深める。ひいては、本市ジュニア選手の育成及び競技力の向上を目指すとともに、大府市との交流をさらに深化させていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース  ○職員手当等 107千円 ○報償費 147千円 ○需用費 306千円 ○使用料及び賃借料 43千円	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		989	603	603	502		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
一般財源		989	603	603	502		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
事業開催数			目標値	1	1	1	1
			実績	1	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>本年度は第4回目の交流大会として8月16日～18日の間新居浜市にて交流事業を行った。本市高校生らも交えた、合同練習では両市選手が和気あいあいと楽しみながら練習ができていたと感じた。交流大会について、昨年は大府市に負ける結果となったが、今回は本市が勝利する形となった。次年度は訪問する予定である。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>予定では、本市より大府市に赴くこととなるため、派遣費用が必要となり、予算額は昨年よりも増加する。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和6年度は大府市の選手を新居浜に招いての開催となった。地元高校生の協力のもと交流大会を開催することができた。令和5年に本事業に参加していた大府市の選手が、新居浜に訪問してくれるなど、相互の交流が進んでいる。</p>							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10611_01		
事業名(行目名称)		新居浜市合宿誘致事業費		細事業名	新居浜市合宿支援奨励金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市外のスポーツを行う団体			数値	約1000人		
	手段(どうやって)	1回のスポーツ合宿において10万円を限度として支出する。 (延べ宿泊数に1泊あたり1000円(簡易宿泊施設は500円)を乗じて得た額)						
	目的(どんな状態にしたいのか)	スポーツ団体等が市内体育施設を活用したスポーツ合宿を実施することにより、本市のスポーツ振興や地域経済活性化、交流人口の増加を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		406	700	700	470	○報償費 700千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	406	700	700	470			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
合宿宿泊者数(延べ)			目標値	1000	1000	350	700	
			実績	258	456	258	602	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
今年度は現時点で3件の申請がある。本事業をきっかけに例年合宿を開催している団体もあり、効果は出ている。ただし土日の大会開催などで体育施設の予約が入っていることが多く、週末の合宿を受け入れることが難しい。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
市内宿泊による経済効果も見込めるため引き続き現状維持で事業を実施していく。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
本制度を利用した、市内での合宿が開催され、目標に近い宿泊実績があり、市内経済の活性化に寄与できた。								

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10357_01		
事業名(行目名称)		体育施設環境整備事業	細事業名	体育施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	施設環境の整備	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	115920人			
	手段(どうやって)	施設及び設備の設計委託と改修。備品の更新及びルール変更に伴う新規購入。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	施設修繕等を行い適正な施設の管理運営を図り、体育施設を利用する市民の利便性の向上や快適な使用環境を提供し、施設利用者の増加を図る。また、施設の不備による臨時の休館をしないように適正な管理をしていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)		令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		244,119	508,830	508,830	483,998		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	210,600	347,100	347,100	358,400		
	その他	33,093	154,063	154,063	119,873		
	一般財源	426	7,667	7,667	5,725		
<div style="font-size: small;">                 ○職員手当等 55千円                  ○工事請負費 501,163千円                  ○備品購入費 7,612千円             </div>							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
体育施設利用者数		目標値	400000	400000	200000	400000	
		実績	380641	411282	232553	401705	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
今年度の工事については予定どおり発注することができた。各体育施設の改修工事等により、快適にスポーツを行える環境の整備が進められている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
体育施設は老朽化が進んでおり、安全、快適で長期にわたり使い続けるには、適切な時期に改修が必要であるため現状を維持する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和6年度は山根公園屋内プール改修工事、東雲市民体育館・市民プール高圧受電設備改修工事、山根公園テニスコート高圧受変電設備外改修工事、市営野球場1Fトイレ改修建築・設備工事、市営野球場バックネット屋根改修工事、東雲陸上競技場改修工事、東雲陸上競技場改修付帯工事を行った。体育施設の老朽化が進む中で、利用者の安全、施設の長寿命化を確保するため改修工事を計画的に実施して行く。							

## 令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				